

# アグリビジネス経営塾 第367号

社団法人日本農業法人協会 平成20年11月14日

農業法人列伝 20

## 加工・販売がもたらす経営の安定

福井県丹生郡越前町  
(有)陶芸の里農産組合

代表取締役 武藤吉明さん(59歳)

石川県加賀市から三重県四日市市に抜ける国道365号線で福井県丹生郡越前町に差し掛かると道沿いに『雪んこ餅』と大書した看板が目飛び込んでくる。ここが(有)陶芸の里の本拠地である。



武藤吉明さん

冬場、行き交う車の多くは越前ガニを目当てとする観光客を運ぶもので、海岸に出れば越前水仙も咲き誇っている。しかし「山一つを隔てたこちら側は雪で覆われ、農作業ができない」。おまけに長い間、水稻単作で甘んじてきた。「これでは地域農業の継続・展開は望めない」と1990年13人の農業経営者が集まって「付加価値の創造」を合い言葉に陶芸の里農産組合を結成した。いずれも県農業士の面々である。

事業として選んだのは地元名産のモチ米「タンチョウ」の加工・販売。既にこの分野で成功している石川、新潟県等の経営を訪ねてノウハウを学んだ。打ち立てた年間売上目標は2千万～3千万円。最低300俵のモチ加工を目指した。

経営形態については農業生産法人での立ち上げも考えたが、加工販売会社として各構成員からモチ米を買い取る方式を採ったことから、一般法人でのスタートとなった。前年度こそ少々下回ったが、毎年ほぼ3千万円台の

売上を維持している。

売上を伸ばすために肝心なのは「まず食べてもらうこと。身内だけで試食していても改善・進歩はない」。店舗をアンテナ・ショップ化し、ぜんざい、団子等を食べられるようにした。続いてタケノコ飯やコロケ定食など本格的な食事メニューが加わる。これらを調理するのは女性グループ「花みずき味人(びじん)」のみなさん。タケノコはもちろん地元産を使用している。

92年には販売部門を独立させ、陶芸の里農産組合の隣りに直売施設を建設。(有)宮崎おもいで屋として別法人化し、代表を兼務しており、モチに加え、野菜類等も販売している。



国道365号線沿いに建つ陶芸の里農産組合

陶芸の里、おもいで屋の両店舗を訪れる客の「35%は県外から」。前年同月比で20%増を維持してきたが、「今年はガソリン高騰の影響をまともに受け、逆に10%減」となっている。

個別経営の分だが、うるち米栽培の10分超をそっくりそのまま、自身がリーダーを務める集落営農組織に組み込んでいる。長男・明彦さん(35歳)もオペレーターとして従事しており、ほかに約100頭の規模での乳オス肥育も営む專業家だ。ちなみに濡れ子は近所の酪農家からのもの。飼料ではホール・クロップ・

サイレージを使っており、合計7畝のうちの5畝を他の集落組織に任せ、2畝を自ら栽培している。

水稲単作の不安定さを補おうとたった1頭から乳オス肥育を始め、40年間で最高150頭を擁することもあった。牛舎を設けず、竹藪で野外飼養するなどコスト低減も試みたが、「エサ代の予期せぬ変動で赤字に転落することも...」。

こうした数々の苦い経験を重ねた結果、「売上、利益をほぼ予測することができる農産物の加工・販売への進出こそが経営全体の安定度を高め、次代への経営継承も可能にするとの結論に到った」のであり、これは陶芸の里農産組合に参画した13人に共通するものである。

07年6月、日本農業法人協会監事に選任された。県協会会員からは「全国組織でありながら、コメ政策についての政府に対する物言いが弱い」との声も聞かれる。

東京と各県組織とを結ぶパイプが決して太くないのも気になる。「双方の交流、コミュニケーションを密にし、組織全体としての活動を活発にさせなければ...」と思う。

また会員には「お付き合い」的に名を連ねるだけでなく「全国を席捲せんばかりの積極性をもって発言していただきたい」とする。

## 法人協会ニュース

### 耳寄り通信をメール配信しています！

アグリビジネス経営塾 e-mail 受信者向け情報提供活動として、農業法人経営の競争力強化を支援する情報を会員限定で不定期（月1回程度）に送信しています。

これまでに配信された情報は、会員専用ホームページ内、資料ダウンロードに掲載されています。

- No.1 資源エネルギー庁補助事業について(9/24)
- No.2 省エネ技術等補助事業について(10/7)
- No.3 中小機構人材育成事業について(11/7)

まだ、アグリビジネス経営塾をFAX受信されている方は、e-mail受信への変更を当協会までご連絡いただければ、自動的に配信リストに追加されます。この機会に、アグリビジネス経営塾の受信方法を変更しませんか！

### ジェットロ研修生受け入れ制度について

日本貿易振興機構(ジェットロ)は、国内および海外業務を通じて、ビジネスを中心とした海外事情、内外のビジネス・パーソンとの交流など海外ビジネスのための知見を習得する機会として、民間企業等から研修生(出向扱い)を受け入れる制度を設置しています。その概要は次の通りです。

条件 依頼者が研修(海外研修中も含む)に要する経費を全額負担すること。

依頼者の職員身分のまま、ジェットロの嘱託員とする。

任期：原則2年間(国内1年間・海外1年間)

基準：原則35歳未満。心身ともに健康、協調性等を有すること。実務経験が相当程度あり、研修に必要な語学力を有すること。

詳細は当協会会員専用HP内に掲載します。

ご興味頂いた方は、11月下旬までに当協会事務局へお気軽にご相談ください。

### 第5回グルメ&ダイニングスタイルショー春2009の出展募集について

来たる2月3日(火)~6日(金)に第5回グルメ&ダイニングスタイルショー春2009が東京ビックサイトに開催されます。すでに、バイヤーやレストラン・ホテルの料理長などが多くご来場される展示会として定着し、第4回(10月)開催結果では、会期3日間で来場者数22,042名、うち小売業23.5%、卸売業17.3%、サービス業15.3%となっています。

主催・運営者である(株)ビジネスガイド社は、当協会のアグリサポート倶楽部会員でもあり、今回も会員限定で通常の出展料よりも割安な10万円の「特別パッケージブース」をご用意していただいています。

ご出展をご希望される方は、12月5日(金)までに当協会事務局(担当：数納・新井)もしくは(株)ビジネスガイド社グルメ&ダイニングスタイルショー事務局(TEL:03-3843-9854)までご連絡下さい。

なお、詳細については、近日中に会員の皆様のお手元に開催要項等のご案内が郵送される予定ですので、そちらをご確認ください。

●-----●  
本紙に関するお問合せは下記までご連絡ください

## アグリビジネス経営塾

発行：社団法人日本農業法人協会



HP：<http://www.hojin.or.jp>

TEL:03-6268-9500

FAX:03-3237-6811

e-mail：[juku@hojin.or.jp](mailto:juku@hojin.or.jp)

©(社)日本農業法人協会2008

本紙記事の無断転載を禁止します